

第1回仙台市農業園芸センター再整備事業者評価委員会 議事概要

日時 平成27年1月25日(日) 10:00~12:20

場所 仙台市役所本庁舎2階 第4委員会室

出席委員

東北大学大学院 農学研究科 農業経営経済学分野 教授	伊藤 房雄
東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 教授	菊地 良覺
宮城大学 事業構想学部 事業計画学科 准教授	高力 美由紀
千葉大学 名誉教授	古在 豊樹
農事組合法人 仙台イーストカントリー 代表理事	佐々木 均
官澤綜合法律事務所 弁護士	丸山 水穂
霞友会計事務所 公認会計士	水野 由貴

議事内容

1. 開会
2. 挨拶(仙台市 佐藤農林部長)
3. 委員紹介
4. 委員長の選任
 - ・ 委員の互選により伊藤委員を委員長に選定。
5. 議事
 - (1) 事業者公募の進め方について
 - ・ 事業者公募の進め方については特に意見なく、事務局の提案通りとする。
 - (2) 募集要項について
 - ・ 拠点A・Bの共同利用となる部分については、両者に貸し付けを行うイメージ。ただし、管理責任や使用調整は難しい問題がありトラブルにならぬよう、使用者に対し、仙台市が運用管理方法を定める等の調整をすることを考えておくべき。
 - ・ 募集要項には、契約案のひな形を示せるよう検討する。また、設置施設の中で拠点A・Bの共同利用になることについては記載があるが、管理者については明確でないため、記載の表現を含めて工夫する。
 - ・ 提案に対する最低限の基準というものは特に設けないが、仙台市の農業振興に寄与するため一体的に機能する施設・共同事業施設ということを踏まえ、事業同士が相乗効果を発揮できるような提案を行えるよう、募集要項の表現方法を工夫したい。
 - ・ 農業園芸センター11haの他、隣接する大沼について、本事業の魅力や評価にも関わってくると思うので、事業展開する際に有効活用する方向性を考えてほしい。

(3) 評価基準について

- ・ 連携の点数・特別加算点数について、より検討をする必要がある。
- ・ 拠点Aについては、企業秘密の関係性が重視されれば、閉鎖的になってしまう。公益性との兼ね合いを考えて事業実施方法をよく検討し、先進事例も参考にしながら、見学者を受け入れるよう条件を入れてほしい。地域活性化にも効果があるだろう。また、拠点B事業者も連携し、来園する人を拠点Aに呼び込むようにしてほしい。
- ・ 個別提案の協調性の部分について、プレゼンの際に評価を行う。両方の拠点に応募したら基礎点5点というのは、両方の拠点に応募する動機づけに加算することで、悪くはないが、連携の形に加算することとしたい。
- ・ (3) ⑧事業推進体制 20点を15点とし(3)は25点満点、(5)にその5点を組み入れて15点とし、0～15点の間で評価することとする。
- ・ 費用負担の採点は、段階的になるよう工夫する。費用負担の項目は指定管理選定時と同様の割合(20～30%)を活用していた。(5)の特別加算を別枠にするかどうかは検討する。
- ・ 費用負担の採点は1点刻み、採点全体の2割となることについては、合意する。費用負担については、提案内容から事務局側が機械的に決め、評価委員会の場にて検証する。

6. その他(次回委員会の日程調整など)

7. 閉会

以上